



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場取引所 大

上場会社名 タビオ 株式会社

コード番号 2668 URL <http://www.tabio.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 越智 勝寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 谷川 繁

TEL 06-6632-1200

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	11,040	△0.5	382	△11.2	400	△10.6	167	28.5
24年2月期第3四半期	11,099	10.0	431	301.9	448	264.2	130	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 158百万円 (19.3%) 24年2月期第3四半期 133百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	24.56	—
24年2月期第3四半期	19.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年2月期第3四半期	8,356		5,051		60.5	
24年2月期	8,566		5,097		59.5	

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 5,051百万円 24年2月期 5,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,013	2.8	903	7.9	927	7.4	434	23.7	63.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	6,813,880 株	24年2月期	6,813,880 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	1,779 株	24年2月期	1,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	6,812,101 株	24年2月期3Q	6,812,101 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年3月1日～平成24年11月30日)における国内経済は、東日本大震災からの復興需要などもあり、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、欧州や中国などの海外景気の減速や長引く円高に加え、日中関係悪化に伴う企業業績の下ブレ要因など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

国内衣料品販売におきましては、昨年の東日本大震災の反動やセール分散化による購買意欲の低下、気温や天候不順による季節商品の低迷、9月から10月にかけての記録的な残暑による秋物衣料の売れ行き不振等、顧客ニーズに応じた商品提案を行う専門店においても、外的要因に大きく左右される事となりました。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に変化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

当第3四半期連結累計期間における業績におきましては、前年の震災による反動やメディアによる反響、当年の夏物販売の好調等があり、上半期における月次単位での業績に変動が見られました。下半期に入ると、記録的な残暑の影響を強く受けたこともあり、秋物商戦は低調に推移しましたが、気温が低下した10月後半からは、次第に秋冬物商品に動きが出てきており、第3四半期累計ベースでは、前年並みの売上高水準となりました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、『マイティソクサー』を『靴下屋』ブランドに吸収し、主力業態への集約化を進めると共に、レディース・メンズの複合店舗の開発に積極的に着手致しました。また、好立地への移転・リニューアルや催事出店を推進することにより、ブランド力の強化と店舗認知度の向上に努めて参りました。

「ショセット関連部門」では、靴下屋関連部門と同様、レディース・メンズの複合店舗の展開を行っていくと共に、百貨店紳士靴下売場へのメンズ販売の着手に尽力して参りました。また、積極的な催事出店を行うことにより、売上高の拡大と事業効率のアップを図ると共に、『タビオ』ブランドのプロモーション強化を進めて参りました。さらに、最近のメンズ需要の高まりに対応して、今後の売上拡大に繋げるべく関西初となるメンズ単独店舗の出店を行いました。

海外展開におきましては、タビオ・ヨーロッパの経営改革を推し進め、不採算店舗の整理を行い、事業基盤の立て直しを行うと共に、11月にはロンドン市内において路面店の出店を行いました。また、タビオ・フランスでは、7月にパリ市内において2号店目の出店を行うと共に、店舗オペレーションの強化を図り、事業基盤の確立に尽力して参りました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店18店舗、直営店22店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店17店舗、直営店12店舗の退店により、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店127店舗、直営店163店舗(海外子会社の8店舗を含む)、合計290店舗となりました。

利益面におきましては、直営店の契約解除等に伴う賃貸借契約解約損39百万円等を特別損失として計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,040百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は382百万円(前年同期比11.2%減)、経常利益は400百万円(前年同期比10.6%減)、四半期純利益は167百万円(前年同期比28.5%増)となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高の間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金で677百万円、商品で315百万円増加しましたが、現金及び預金が1,216百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べて210百万円減少し、8,356百万円となりました。

負債については、買掛金が343百万円増加しましたが、未払法人税等で275百万円、長期借入金で207百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べて165百万円減少し、3,304百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて45百万円減少し、5,051百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の59.5%から60.5%に増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期における通期の業績予想については、平成24年10月5日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,638,921	1,422,477
受取手形及び売掛金	842,989	1,520,463
商品	576,586	891,603
貯蔵品	413	545
その他	240,785	184,268
貸倒引当金	△35,798	△40,634
流動資産合計	4,263,897	3,978,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,022,685	1,090,341
土地	1,182,014	1,182,014
その他(純額)	246,749	310,578
有形固定資産合計	2,451,450	2,582,934
無形固定資産	752,449	694,713
投資その他の資産		
差入保証金	1,001,893	1,025,504
その他	98,491	75,759
貸倒引当金	△1,305	△1,438
投資その他の資産合計	1,099,079	1,099,826
固定資産合計	4,302,980	4,377,473
資産合計	8,566,878	8,356,198
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,236,996	1,580,006
短期借入金	33,538	115,827
1年内返済予定の長期借入金	179,891	118,286
未払法人税等	356,444	80,927
賞与引当金	121,026	30,142
その他	708,428	789,255
流動負債合計	2,636,325	2,714,444
固定負債		
長期借入金	394,099	186,832
退職給付引当金	157,075	146,490
資産除去債務	106,333	112,072
その他	175,656	144,532
固定負債合計	833,164	589,928
負債合計	3,469,489	3,304,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	4,652,860	4,615,835
自己株式	△952	△952
株主資本合計	5,159,121	5,122,096
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△61,732	△70,270
その他の包括利益累計額合計	△61,732	△70,270
純資産合計	5,097,388	5,051,826
負債純資産合計	8,566,878	8,356,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	11,099,917	11,040,008
売上原価	4,973,325	4,942,442
売上総利益	6,126,591	6,097,565
販売費及び一般管理費	5,695,250	5,714,688
営業利益	431,340	382,877
営業外収益		
受取利息	2,811	2,249
仕入割引	16,704	8,252
固定資産賃貸料	3,004	3,004
受取手数料	8,476	5,400
その他	9,226	7,896
営業外収益合計	40,223	26,803
営業外費用		
支払利息	14,894	7,558
固定資産賃貸費用	872	628
為替差損	7,006	—
その他	501	882
営業外費用合計	23,274	9,069
経常利益	448,289	400,611
特別損失		
固定資産除却損	11,380	8,423
リース解約損	1,698	—
賃貸借契約解約損	15,300	39,776
減損損失	10,237	3,881
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53,222	—
特別損失合計	91,838	52,080
税金等調整前四半期純利益	356,450	348,531
法人税、住民税及び事業税	159,670	98,530
法人税等調整額	66,601	82,662
法人税等合計	226,272	181,193
少数株主損益調整前四半期純利益	130,178	167,337
四半期純利益	130,178	167,337

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	130,178	167,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△785	—
為替換算調整勘定	3,713	△8,537
その他の包括利益合計	2,927	△8,537
四半期包括利益	133,105	158,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,105	158,800
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。